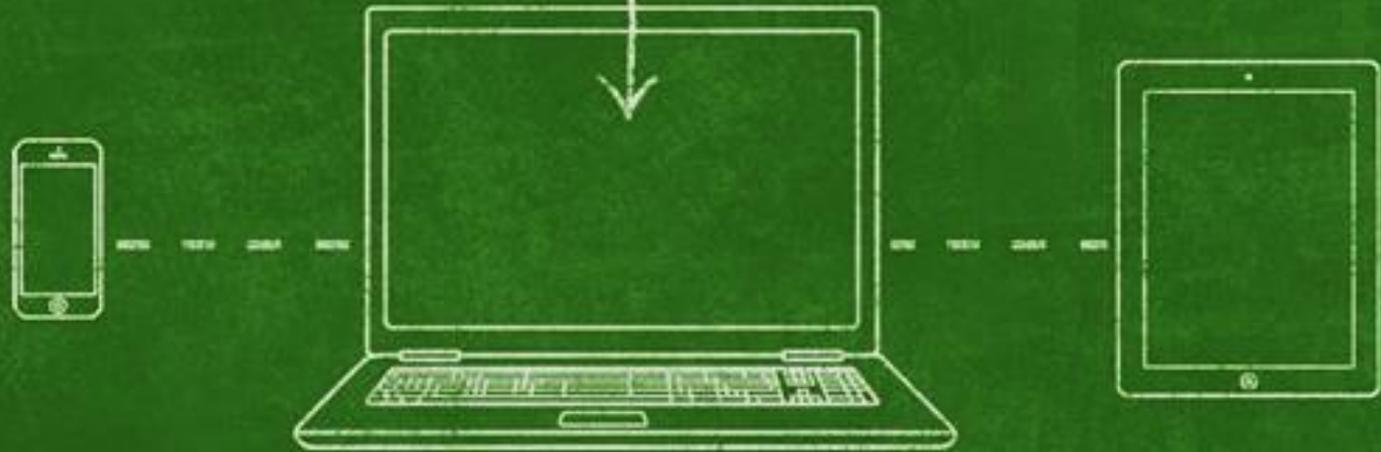


福島県新地町 事業実施計画と取り組み内容について



11月21日(火)
新地町教育委員会
伊藤 寛

これまでの成果と課題

シームレスな環境が生み出す新たな学びの実践



子どもたちの学習状況を確認し、適切に指導



タブレット端末持ち帰りによる家庭学習の充実



学びの深まりを生む協働学習の実現



保護者の理解と連携



様々な場面を利用した表現力の育成



これまでの成果と課題

シームレスな環境が生み出す新たな学びの実践



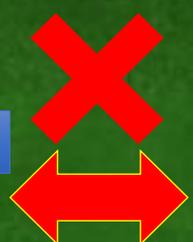
子どもたちの学習状況を確認し、適切に指導



教育クラウド



様々な場面を利用した表現力の育成



タブレット端末持ち帰りによる家庭学習の充実



学びの深まりを生む協働学習の実現



保護者の理解と連携

統合型校務支援システム導入による校務負担軽減



学習・生徒指導情報の一元管理



教育クラウド



指導要録作成の効率化



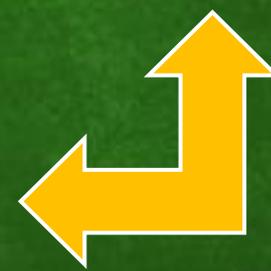
出欠状況のすばやく正確な把握



成績処理作業の軽減
充実した通知表作成



保健室利用状況の記録蓄積



これまでの成果と課題



課題2 1

コメント いいね 閲覧回数

先生用メモ

先生さんへ

本実証における新地町の取り組み

課題とニーズ

これまで新地町は「先導的教育体制構築事業」により「新たな学び」として効果的なICT活用教育の実現を目指し、様々な取り組みを実現してきた。 今後は、児童生徒個々の状況を的確に把握した指導、学校や学級の状況を適切に分析して実施するマネジメント、教員の多忙感の解消を目指す必要がある。

■福田小学校が抱える課題・ニーズ

⇒ 効率的なICT活用による多忙感の解消
児童の深い学びを実現する工夫

■新地小学校が抱える課題・ニーズ

⇒ 家庭との連携による家庭学習の充実
学習に対する不安や家庭環境が起因となっている不登校発生の防止

■駒ヶ嶺小学校が抱える課題・ニーズ

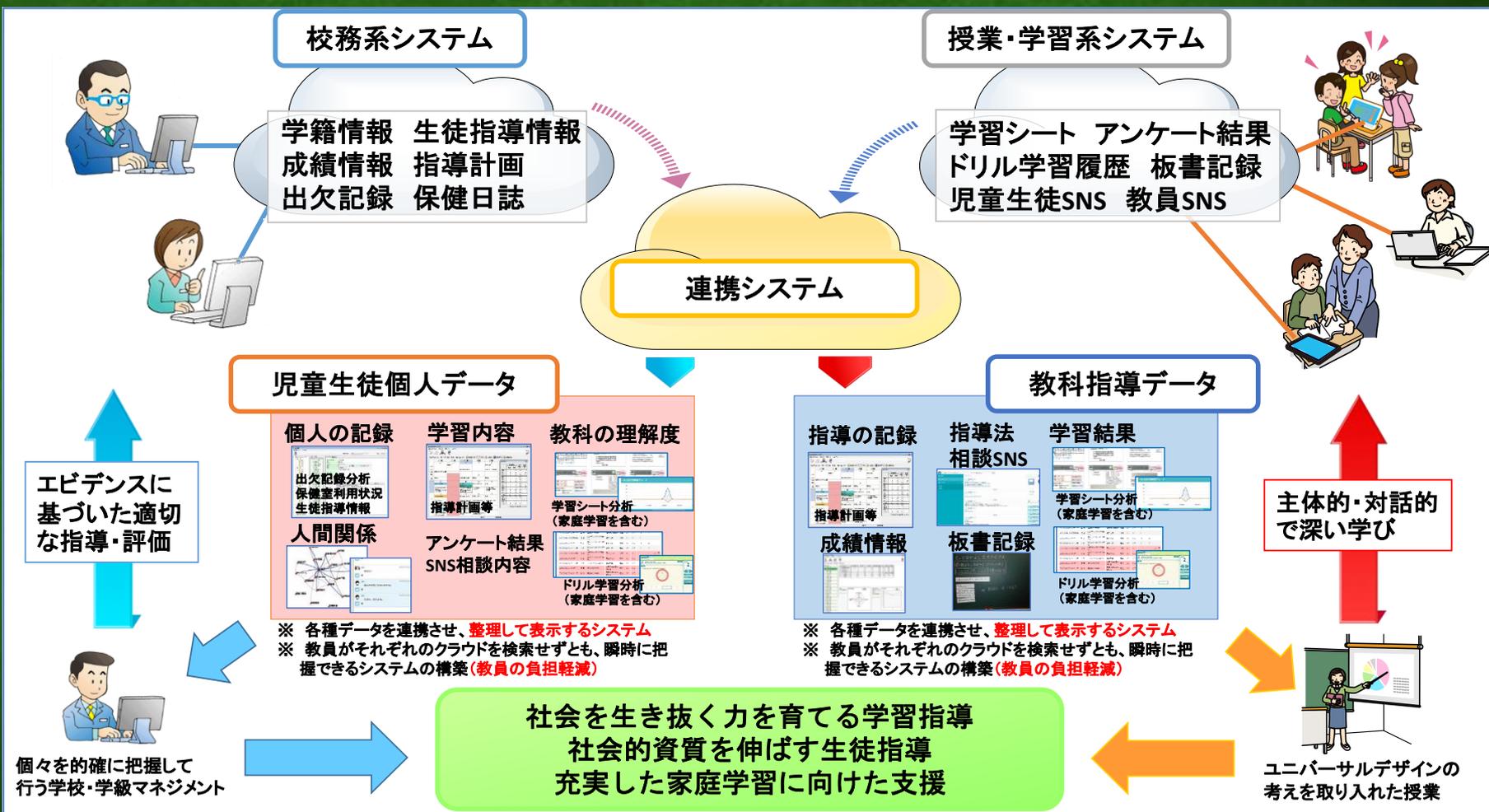
⇒ チーム学校が行う充実した生徒指導
学びの経過を捉えた個に応じた学習指導

■尚英小学校が抱える課題・ニーズ

⇒ 生徒の躓きを的確にフォローする学習指導
適切な支援による生徒指導問題の早期解決

本実証における新地町の取り組み

- ・ 児童生徒個人データ
児童生徒の心身の状況と学びの様子を的確に捉えて個に応じた支援を行う
- ・ 教科指導データ
教科の指導状況の把握により、教員個々の指導方法を改善する



本実証における新地町の取り組み



- I 児童生徒名や出欠状況，教科指導計画と学習シート(児童生徒の学びが記録されたデジタル学習シート)の連携が生み出す，個人の学びの経過を捉えた適切な学習指導
- II 教員が行う本時の学習活動に対する評価とその蓄積，児童生徒が行う自己評価の蓄積から実施される活動状況を的確にとらえた評価と学習支援
- III 児童生徒個々の発表回数や全体で共有された回数の蓄積および分析から生み出される一人一人の活躍の場と主体的・対話的な学びの実現
- IV ドリル学習型コンテンツに蓄積された情報と定期テスト等の結果，出欠状況から実施される個に応じた支援
- V 保健室利用状況や出欠状況の分析から不安を抱える児童生徒の早期発見と学習活動時の交友関係の記録から編成するサポートチーム
- VI デジタルで実施されたアンケート調査(教育相談，いじめ相談等)の結果等と生徒指導の記録等の分析による生徒指導上の問題の早期発見・早期解決
- VII 家庭学習についての支援及び評価と通知表等への記載による効果的な家庭学習の啓発とその充実
- VIII 教科指導計画，週授業計画案に基づいて実施された授業の板書記録とその共有による指導法の改善

本実証における新地町の取り組み



福田小学校

Ⅱ Ⅲ Ⅷ



新地小学校

Ⅱ Ⅴ Ⅶ



駒ヶ嶺小学校

Ⅰ Ⅲ Ⅵ

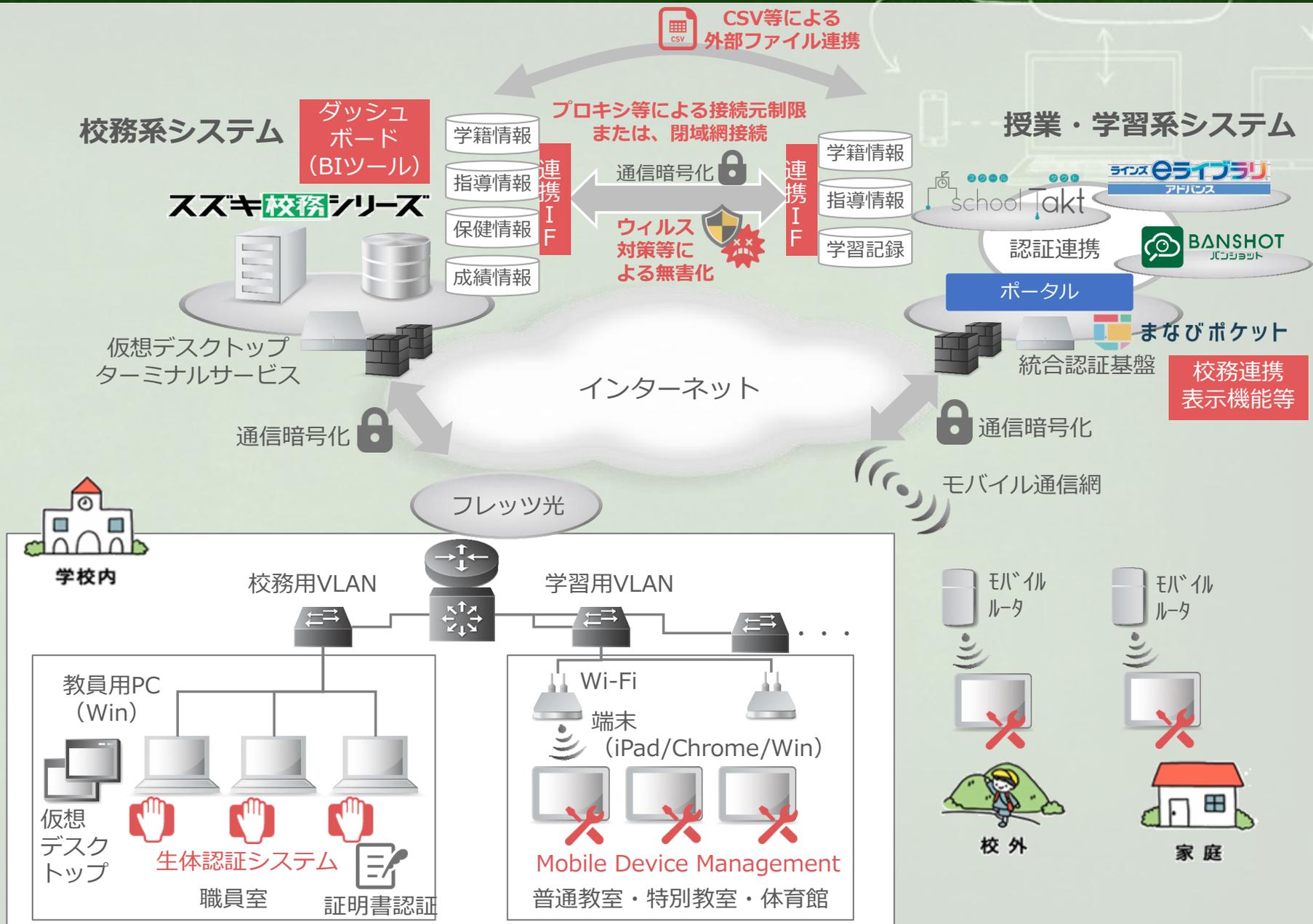


尚英中学校

Ⅳ Ⅴ Ⅷ

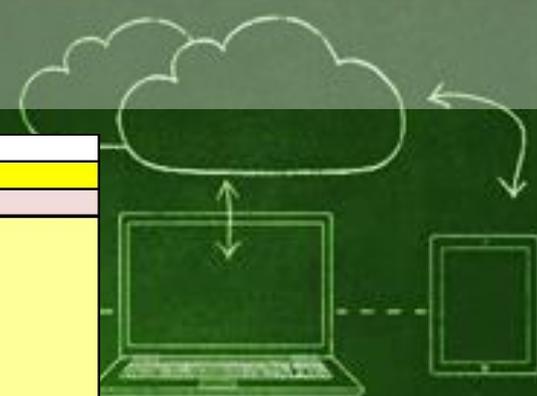
社会を生き抜く力を育てる学習指導
社会的資質を伸ばす生徒指導
充実した家庭学習に向けた支援

取り組みを実現するためのシステム



実施スケジュール

2017年				2018年			
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
実証期間						成果まとめ（評価）	
▲ 6日 第2回新地町 学校ICT活用協議会	とりまとめ企業との 事業すり合わせ	▲ 1日 第3回新地町 学校ICT活用協議会	▲ 15日 ICT活用発表会		▲ 7日 第4回新地町 学校ICT活用協議会		
		各校説明会	保護者説明会	ICT活用教育に関する保護者／児童生徒アンケートの実施	本事業用アンケートの実施		
	ユースケース整理、学校現場ヒアリングによる 要求定義・要件定義		随時、現場ヒアリング等を実施	実施要件を改訂			
		実証準備・モックアップ/プロトタイプ開発等（開発された機能は順次展開していく）			必要に応じ順次改修等の実施		
				開発された機能の展開に応じて順次実証			
		データ連携仕様の協議会へ提示			活用状況分析・課題把握・次年度に向けたシステム改善方法の検討		
					成果報告書作成		



平成29年度

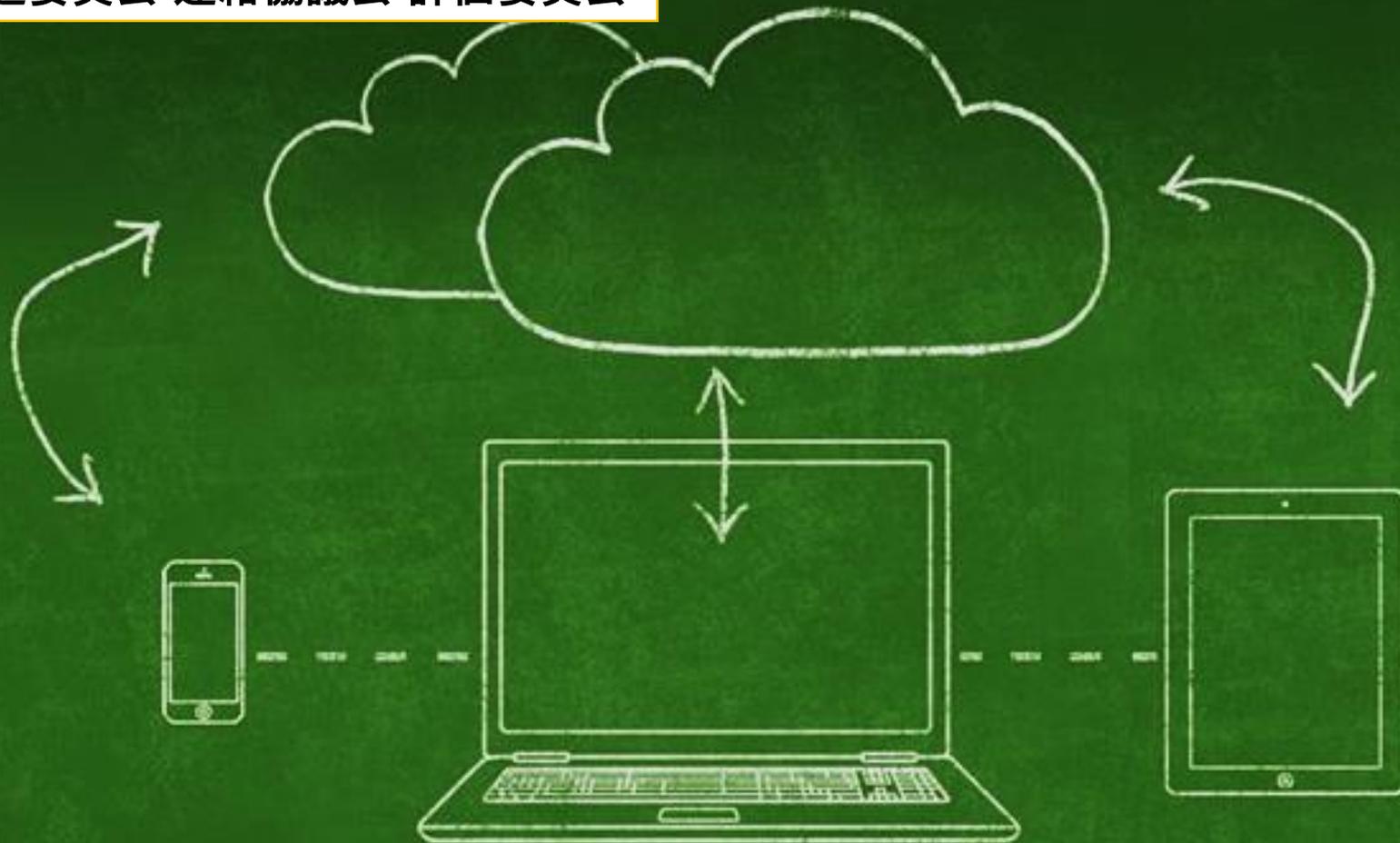
- ・ 統合型校務支援システムと学習系システムを安全に連携させるシステムの構築
- ・ 教員へのヒアリング実施によるシステム機能の整理
- ・ 新地町セキュリティポリシーの改訂
- ・ 先進地域視察による教職員の指導力向上
- ・ 新地町ICT活用協議会、新地町ICT活用発表会の開催

平成30年度

- ・ 統合型校務支援システムと学習系システムを安全に連携させるシステムの改善
- ・ 教員へのヒアリング実施によるシステム機能の改善
- ・ 連携システム運用における効果の検証
- ・ 先進地域視察による教職員の指導力向上
- ・ 指導助言者を招聘する各学校研究授業の開催
- ・ 新地町ICT活用協議会、新地町ICT活用発表会の開催

平成31年度

- ・ 統合型校務支援システムと学習系システムを安全に連携させるシステムの改善及び一般化に向けた整理
- ・ 連携システム運用における効果の検証
- ・ 先進地域視察による教職員の指導力向上
- ・ 指導助言者を招聘する各学校研究授業の開催
- ・ 新地町ICT活用協議会、新地町ICT活用発表会の開催



どうぞよろしくお願ひします。

11月21日(火)
新地町教育委員会
伊藤 寛